



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	32,192	20.5	4,987	149.2	5,195	116.2	3,644	120.5
2024年3月期第3四半期	26,707	△7.9	2,001	△55.0	2,403	△47.1	1,653	△46.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,658百万円(78.8%) 2024年3月期第3四半期 2,045百万円(△40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	321.37	—
2024年3月期第3四半期	144.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	65,816	46,351	70.4
2024年3月期	62,512	43,973	70.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 46,351百万円 2024年3月期 43,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	22.7	6,400	127.1	6,600	101.4	4,300	103.1	379.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	11,720,000株	2024年3月期	11,720,000株
2025年3月期3Q	376,569株	2024年3月期	381,226株
2025年3月期3Q	11,341,649株	2024年3月期3Q	11,461,220株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、地政学リスクや米国の今後の政策動向、物価上昇を背景とした消費の落ち込み、人手不足による供給制約等、国内外に景気に対する不確定要素が多く、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、2021年から2025年の5年間の計画期間とする中期経営計画『増強21-25』の基本戦略である「事業ポートフォリオの改革」と、「各事業の増強」に取り組んでおります。計画4年目となる当期については、事業の柱である研磨材事業は、AI向け先端半導体の需要増加や景気循環的な半導体需要の回復等を背景に、増加基調が続きました。化学工業品事業は、特に電子材料において厳しい市況悪化が続いていましたが、その悪化も底打ちし、回復基調となりました。生活衣料事業は、国内の販売低迷に直面しながらも、海外市場でのニーズが高まっており、海外向け衣料品の売上は好調に推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比5,484百万円(20.5%)増収の32,192百万円、営業利益は2,986百万円(149.2%)増益の4,987百万円、経常利益は2,792百万円(116.2%)増益の5,195百万円となりました。これから特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,991百万円(120.5%)増益の3,644百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

2023年前半に底を打った世界の半導体市場は、2024年に入り緩やかな回復が続いています。このような中、超精密加工用研磨材の半導体デバイス用途(CMP)は、生成AIの普及によってメモリや最先端ロジック向け半導体の需要が増加し、一部ユーザーの在庫水準も引き上げられたため、受注が増加しました。シリコンウエハー用途は、過剰在庫が徐々に解消されつつありますが、本格回復には至っていません。ハードディスク用途はデータセンター向けの需要が戻ってきていますが、液晶ガラス用途ではパネル市場の低迷が続いており、受注が低調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比4,898百万円(51.9%)増収の14,336百万円となり、営業利益は2,970百万円(505.6%)増益の3,558百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、昨年来の中国経済低調の影響が継続しているものの、半導体を含む電子材料市場の緩やかな拡大と在庫調整の一巡により需要が回復傾向となりました。また、新規製品への取り組みが奏功し、工場の稼働は改善しました。

この結果、売上高は前年同期比722百万円(7.7%)増収の10,089百万円となり、営業利益は297百万円(46.0%)増益の944百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、物流費やエネルギーコストの高騰に加え、円安の影響を受け、厳しい環境が続きました。繊維製品は、量販店の店舗減少や消費者の節約志向の高まりにより苦戦しました。一方、ネット販売では、SNSや検索広告などのWebマーケティングを強化し、ネット専用製品を拡充することで、効果的な商品訴求を図りました。また、高品質な日本製品が評価され、海外向け販売は好調に推移しました。しかしながら、円安の進行に伴う原材料や資材の価格高騰が続いているため、利益面では粗利率が低下しました。

この結果、売上高は前年同期比24百万円(0.4%)減収の5,378百万円となり、営業利益は145百万円(22.3%)減益の509百万円となりました。

④その他

化成品部門は、当第3四半期より医療機器用部品およびデジタルカメラ用成形品の受注が堅調となり、前年同期比で増収となりました。一方、金型部門は、自動車メーカーの品質不正問題や大手企業の経営統合などにより、依然として不透明な状況が続いています。また、事務機器用金型が開発案件の端境期にあることや、車載コネクタやスマートフォン向けホットランナーの需要が低調であることから、厳しい状況が続いております。貿易部門では、採算重視の取引への改善を進めています。

この結果、売上高は前年同期比111百万円(4.5%)減収の2,387百万円となり、営業利益は135百万円(121.9%)減益の24百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて3,303百万円増加の65,816百万円となりました。

流動資産は758百万円増加の24,448百万円となりました。これは、現金及び預金や棚卸資産は減少しましたが、売上債権が増加したことなどによります。

固定資産は2,545百万円増加の41,368百万円となりました。これは研磨材事業や化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて925百万円増加の19,464百万円となりました。

流動負債は984百万円増加の12,741百万円、固定負債は59百万円減少の6,723百万円となりました。これは、長短借入金は減少しましたが、仕入債務、未払法人税等および設備関係支払手形などのその他流動負債が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて2,377百万円増加し、46,351百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が1,304百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が3,644百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期第3四半期連結累計期間の業績および今後のAI向け先端半導体の需要増加や景気循環的な半導体需要の回復等を勘案し、2024年10月31日に公表した通期の業績予想を修正いたしました。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,262	7,938
受取手形及び売掛金	8,554	9,439
電子記録債権	605	733
商品及び製品	1,071	1,061
仕掛品	2,702	2,445
原材料及び貯蔵品	1,664	1,859
その他	837	977
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	23,689	24,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,806	11,785
機械装置及び運搬具（純額）	6,563	6,905
土地	13,858	14,983
その他（純額）	2,732	2,964
有形固定資産合計	33,962	36,639
無形固定資産		
のれん	1,002	897
その他	214	221
無形固定資産合計	1,217	1,119
投資その他の資産	3,643	3,609
固定資産合計	38,822	41,368
資産合計	62,512	65,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,156	4,251
電子記録債務	1,095	1,329
短期借入金	1,223	380
未払法人税等	497	1,160
引当金	734	437
その他	4,048	5,181
流動負債合計	11,756	12,741
固定負債		
長期借入金	210	150
退職給付に係る負債	4,170	4,065
資産除去債務	500	519
その他	1,900	1,988
固定負債合計	6,782	6,723
負債合計	18,539	19,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,213	2,225
利益剰余金	32,684	35,024
自己株式	△1,002	△990
株主資本合計	40,569	42,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,204	1,283
繰延ヘッジ損益	△4	8
土地再評価差額金	1,527	1,527
為替換算調整勘定	742	660
退職給付に係る調整累計額	△67	△62
その他の包括利益累計額合計	3,403	3,417
非支配株主持分	0	0
純資産合計	43,973	46,351
負債純資産合計	62,512	65,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	26,707	32,192
売上原価	18,885	20,915
売上総利益	7,822	11,277
販売費及び一般管理費		
給料及び賃金	1,158	1,181
退職給付費用	105	113
賞与引当金繰入額	89	93
技術研究費	1,062	1,312
その他	3,404	3,588
販売費及び一般管理費合計	5,820	6,289
営業利益	2,001	4,987
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	66	73
固定資産賃貸料	232	224
補助金収入	200	—
その他	80	49
営業外収益合計	581	349
営業外費用		
支払利息	18	16
固定資産賃貸費用	63	47
その他	97	76
営業外費用合計	179	140
経常利益	2,403	5,195
特別利益		
固定資産売却益	14	0
投資有価証券売却益	128	208
特別利益合計	142	209
特別損失		
固定資産処分損	54	84
減損損失	6	0
その他	0	—
特別損失合計	61	84
税金等調整前四半期純利益	2,484	5,320
法人税、住民税及び事業税	660	1,546
法人税等調整額	170	129
法人税等合計	831	1,675
四半期純利益	1,653	3,644
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,653	3,644

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,653	3,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	78
繰延ヘッジ損益	△3	13
為替換算調整勘定	214	△82
退職給付に係る調整額	△1	4
その他の包括利益合計	392	13
四半期包括利益	2,045	3,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,045	3,658
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,707	—	26,707
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,707	—	26,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	—	0	△0	—
計	9,438	9,367	5,402	24,208	2,499	26,708	△0	26,707
セグメント利益	587	647	654	1,889	111	2,001	0	2,001

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	14,336	10,089	5,378	29,804	2,387	32,192	—	32,192
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,336	10,089	5,378	29,804	2,387	32,192	—	32,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	2	3	—	3	△3	—
計	14,337	10,089	5,380	29,807	2,387	32,195	△3	32,192
セグメント利益又は損 失(△)	3,558	944	509	5,012	△24	4,987	△0	4,987

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成製品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,415百万円	2,460百万円
のれんの償却額	105	105